

SDA 活動の回顧と今後の展望

1. 略語「SDA」の原語

SDA 生みの親で、評議員のアーネスト・エム・比嘉氏がこの名称とロゴマークを考案されました。原語については、機関誌 SCRUM 第 1 号(1995 年 1 月発行)の裏表紙に明記されており、“Safety Driving Association”と“Safety Driving Always”の二つの意味があります。



2. SDA 設立の経緯

昭和 60(1985)年、(株)ワイ・ヒガコーポレーション(平成 6 年に(株)ヒガ・インダストリーズと改称)の比嘉社長が、日本初の宅配ピザ店「ドミノ・ピザ恵比寿店」を開かれました。米国では四輪車で配達していましたが、比嘉氏は日本の道路事情を勘案して宅配には原付が最適であると判断され、当時売り出されたばかりの「ホンダ・ジャイロ・キャノピー」を採用されました。

その後、追従業者が増えてバイクの交通事故や速度超過が問題となり、比嘉氏は平成 3(1991)年ころから、自社だけでなく業界全体で安全管理に取り組むための組織作りの必要性を感じられ、宅配業各社と調整した末、発起人 9 名によって平成 5(1993)年 9 月 22 日、任意団体「ピザ等宅配業安全運転管理協議会」(設立趣意書の名称は「ピザ等宅配業交通安全管理協議会」)が設立されました。

3. 会長、理事長及び副理事長

創設以来、SDA は(株)ヒガ・インダストリーズの社内に置かれ、ほとんどの経費は同社が負担しました。理事長は比嘉氏が務められましたが、平成 13(2001)年 5 月に SDA が同社から独立することになり、同年 9 月 7 日の臨時総会において、比嘉氏が新規に設けられた会長に、副理事長の浅野氏が理事長に、理事の宮下氏が副理事長に、それぞれ就任されました。

その後、平成 22(2010)年 3 月 10 日にドミノ・ピザの営業権がすべて米国ベインキャピタル, L.L.C. に移り、比嘉氏は同年 3 月 16 日の総括理事会において理事及び会長を退かれ、会長職は現在空席となっています。なお、比嘉氏は同理事会において、学識経験者として評議員に選任されました。

4. その後の発展と名称の変更

その後、中華料理、弁当、寿司、カレー、酒類、書類等を原付等で配達する会社の加入を得て、平成 14(2002)年 6 月 12 日、現在の「全日本デリバリー業安全運転協議会」に名称が変更されました。名称に「全日本」が冠されたのは浅野理事長の御発案であり、実に画期的なことでした。事務所は、平成 14 年 2 月 11 日、岩本町から現在の神田神保町に移転しました。会員数は現在、正会員 10 社、宅配賛助会員 14 社、宅配外賛助会員 32 社、計 56 社です。

5. 主な事業実績

(1) 店長、店舗管理者のための安全運転マニュアル

H6.8.29 初版、H15.5.2 第3版、H21.1.20 第4版、H25.3.31 第5版が発行されています。

本年度は㈱ストロベリーコーンズさんから100冊の御注文がありました。千冊以上の在庫がありますので、他の会員さんも是非お買い求め下さい。

(2) 宅配従業員(ドライバー)各自が携行する安全運転マニュアル

H10.7 初版、H16.11 第2版、H30.4 第2版2刷が発行されています。

本年度は㈱ワイズテーブルコーポレーションさんから100冊の御注文がありました。約1万冊の在庫がありますので、こちらも是非お買い求め下さい。

(3) 機関誌「SCRUM」の発行

今年度も2月下旬に発行します。例年通りPDF版も発行します。

(4) 店長等管理者を対象とした座学講習会の開催

平成6年度に開始しました。出席者の最多記録は平成19年度の741名でしたが、現在は出席者が非常に少なく、定例会議の冒頭に30分間以下の講話を頂くことが多くなっています。

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
実施回数	6	3	1	2	3	3	4	2	2	1
参加人数	307	114	58	84	83	72	60	27	25	20

(5) 宅配ドライバー対象の安全運転実技講習会の開催

平成6年度から開始しました。昨年度は新型コロナ感染拡大の影響もあり、回数が6回、参加者数が81名と回数・参加者数とも過去最少を記録しました。因みに参加者数の最多記録は平成15年度の1,676名でした。今年度は参加者も順調に増加し、本日現在、自転車を除き14回・183名、自転車が2回・37名、合計16回・220名です。来年度の講習会は10/6(木)仙台市の宮城県運転免許センターのみ決定しています。

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
実施回数	43	36	30	31	29	22	26	11	6	16
参加人数	863	718	418	508	370	277	296	113	81	220

現在までの参加者数ベスト5は、①サンライズサービスさん57名、②日本ピザハットさん32名、③出前館さん31名、④ドミノ・ピザ ジャパンさん26名、⑤ライドオンエクスプレスホールディングスさん18名です。

(6) 安全運転競技大会の開催

東京大会：平成16年度に開始しました。11/5(水)に第18回大会を開催し、今回は㈱セルトさんが団体の部で初優勝されました。

全国大会：平成10年度～22年度は鈴鹿市、平成23年度から、ひたちなか市で開催しています。本年度も昨年度に引き続き新型コロナの影響で中止しました。

参加選手数は両大会とも伸び悩んでいます。来年度は多くの会員の御参加をお願いします。

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
全国大会	78	54	68	63	55	57	42	48	中止	中止
東京大会	52	61	49	58	49	51	30	37	29	24

(7) 無事故無違反運動への参加(東京都)及び開催(46道府県)

平成 11 年度から開始されました。47 都道府県で実施するようになったのは平成 19 年度からです。無事故無違反達成率は年々向上しており、46 道府県(4 ヶ月間)は 9 年連続で向上しています。また、東京都(6 ヶ月間)においても 50% 台を確保しつつ 3 年連続で向上しています。

昨年度はコロナの影響で配達業務が多忙となったこともあり、参加者数が減少しましたが、今年度は好調で、四年振りに 12,000 人台の参加を得ました。

6/11(金)の総会において、令和 2 年度の無事故無違反運動の東京都における成績優秀会員として(株)ストロベリーコーンズさんと(株)デルソーレさんが警視庁交通部長感謝状を受領しました。また、SDA も同感謝状を受領しました。

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
参加会員数	20	18	18	19	16	17	15	15	14	15
参加人数	13,642	12,278	10,976	11,789	12,043	12,738	11,645	11,336	9,821	12,447
達成率(46 道府県)	59.5%	60.4%	63.1%	63.2%	66.5%	69.7%	70.8%	75.3%	78.4%	
達成率(東京都)	30.3%	37.1%	37.7%	36.8	46.7%	46.2%	51.9%	53.7%	59.4%	

注:警視庁の所轄署が行う運動(セーフティドライブコンテスト)参加者を除く。

(8) 自転車部会東京支部の発足

10/27(水)に SDA 初の自転車実技講習会を、警視庁交通部様御指導のもと、荒川自然公園において開催し、同日をもって自転車部会東京支部が発足しました。

(9) 会員会社による実務部会の開催

東京は月 1 回、大阪は期 1 回実施を基準としていますが、平成 28 年度から大阪については開催希望がなく開催していません。

(10) 社会貢献活動

以下は本年度に事務局からお願いしたチラシの配布状況です。そのほかにもございましたら、年度の実績として総括理事会と総会の審議資料に記載いたしますので、お知らせ下さい。

ア 神奈川県警察本部生活安全部様依頼のチラシ(9 月)

(株)ストロベリーコーンズさん 4 千部、(株)出前館さん 4 千部、計 8 千部。

イ 千葉県警察本部生活安全部様依頼のチラシ

(ア) 6 月: (株)壺番屋さん 1,600 部、(株)ドミン・ピザ ジャパンさん 1,200 部、日本ピザハット(株)さん 2,800 部、(株)フォーシーズさん 4,400 部、計 1 万部。

(イ) 9 月: (株)出前館さん 3 千部、(株)ピーシーエスさん 1 千部、ポケットフーズ(株)さん 2 千部、ワタミ(株)さん 4 千部、計 1 万部。

6. 今後の事業計画と展望

(1) 令和3年度総括理事会及び令和4年度総会・懇親会

総括理事会は3月17日(木)の15:00から(一社)日本倶楽部大会議室において、総会は6月10日(金)の14:30から海運クラブにおいて開催します。総会後の懇親会は17:30から開催する予定ですが、新型コロナの感染状況を見て判断します。

(2) 安全運転競技大会

全国大会は9月3日(土)、東京大会は6月29日(水)又は7月6日(水)に開催します。

(3) 無事故無違反運動

実技講習会参加者数が激減している近年、無事故無違反運動を強力に推進することにより、交通安全管理態勢の向上を目指しており、来年度も一人当たり170円の補助金を支出します。

(4) 犯罪抑止活動

昨年度は事件が18件(強盗2件、窃盗3件、同未遂13件)発生しましたが、本年度は7件(窃盗6件、同未遂1件)となっています。この中には店舗前でキーをつけたままにしていた数分の間にバイクを盗まれた1件も含まれています。現金の盗難に遭った店舗のうち、警備会社と契約をしていなかった店舗は6店舗中4店舗ありました。また、5件の盗難事件のうち、小型金庫ごと盗まれたのが1件、釣銭ポーチごと盗まれたのが3件、机の引き出しから盗まれたのが1件ありました。警備会社との契約、入金機、警報装置、防犯カメラ、防盜金庫などの設置、金庫底部の鉄板固定などの処置が望まれます。

(5) 社会貢献活動

今後とも全国の警察及び団体が実施する各種活動に積極的に参加していきたいと思えます。

(6) 自転車部会東京支部活動の推進

関係機関の御指導を得ながら、都内の非会員を含めて自転車の安全管理に関する活動を推進していきたいと考えています。次年度以降は、四半期に1回をめぐりに実技講習会又は座学講習会(あるいは両方を同日)を開催したいと思えます。

会員以外の参加費用については、座学講習会は原則無料(資料代が必要な場合は実費を徴収)、実技講習会は千円にしたいと思えます。

以上